

か み ま ち

㊦ 社協だより

第66号

2016年10月



いつか「誰かを支える存在」に!!

～講師の阿部さんと盲導犬のイール・ピノを囲んで～

夏・福祉体験ワークキャンプ（関連記事は2～3ページに掲載）

編集と発行

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

加美郡加美町字町裏320 電話 (0229)63-2547 URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/288/>

平成28年度

夏●福祉体験ワークキャンプ。

7月28日から1泊2日の日程で、町内の中学生を対象とした『夏・福祉体験ワークキャンプ』を、小野田福祉センターを主会場に開催しました。これは、ボランティア体験学習を通じ、福祉に対する理解を深め、地域活動を行う青少年の育成を図ることを目的に、社会福祉協議会が毎年行っているものです。今回は町内2つの中学校から、8名の中学生が参加しました。

1日目の午前中は、キャップハンディ体験として、視覚障害疑似体験を実施。アイマスクを付けた状態で、白杖とガイドヘルパーの声を頼りに、やくらい文化センター内を実際に歩きました。目が不自由であっても白杖や足から伝わる感触、ガイドの声や周りの音、においなどの視覚以外の五感から得られる様々な情報を頼りにすることで、日常生活を送ることが可能です。でも、そのためにはどうしたら良いのか。参加者の皆さんは自分たちができること、しなければならないことについて考えさせられたようでした。



「あれっ、白杖が下に入っていく！これは何だろう…？」



いつも食べているお菓子とジュースも、アイマスクを付けて食べると「う〜ん、何味かなあ…？」

ガイドの声を頼りに歩きます。「白杖がぶつかったところに階段があるよ！」



午後は、日本盲導犬協会仙台訓練センターから、講師として職員の斉藤さんとPR犬のピノ、盲導犬ユーザーである阿部さんと盲導犬のイールをお招きして、盲導犬のお仕事や訓練、盲導犬との生活についてなどお話をいただきました。

「笑顔で歩けるのもイールのおかげ」、「イールが背中を押してくれる」という阿部さんのお話に、参加者の皆さんは興味深く聞き入り、盲導犬との絆を実感した様子でした。



▲イスに頭を乗せることで、ユーザーに座る場所を示します。



▲立ち止まることで、幅が狭くこれ以上進めないことを伝えています。



▲参加者全員で、PR犬のピノとの歩行を体験しました。

その後は、配食サービスボランティアを体験し、1日目の活動を終えました。

2日目は、施設でのボランティア体験として、グループごとにデイサービスや障害者施設に分かれて活動しました。各施設で利用者の方々と触れ合う時間はあっという間で、それぞれ楽しい時間を過ごしました。

参加した皆さんは、今年の活動を通じて自分達の普段の暮らしの中にも、障害のある方が生活しやすいように工夫されている点がたくさんあることに改めて気付いたようでした。



配食サービスボランティアで、利用者の方々と交流。
「ありがとう」の一言が嬉しかった♪



▲デイサービスでの楽しいひととき。
一緒に間違い探しに挑戦中♪



▲クローバーハウスでは利用者の仕事をお手伝い。真剣な表情で作業に集中！

★体験学習メニュー★

【1日目】◎キャップハンディ学習

- ・視覚障害疑似体験

◎盲導犬をもっと知ろう！

- ・盲導犬のお仕事
- ・盲導犬との生活

◎配食サービス

ボランティア体験

【2日目】◎施設ボランティア体験

- ・通所介護事業所
- ・障害者自立支援施設

2日間を振り返って ～参加者の感想から～

★アイマスクを付けている時、今どこにいて、どこに障害物があるのか、全然分からなかった。介助する方も怖かった。正しく導けるか、介助される方は大丈夫かと、色々考えてしまい、とてもドキドキした。
(宮崎中学校2年 植野那月さん)

★盲導犬はちゃんと私の指示を聞いてくれて、とても嬉しかった。阿部さんは自分とイールについて、普段の生活やコミュニケーションの取り方など、とても細かい事まで分かっている、すごいと思った。
(中新田中学校2年 北村優奈さん)

★目が見えなくても、盲導犬がいたら安心な事に気付いた。白杖を使って歩く時と盲導犬と一緒に歩く時を比べたら、盲導犬と一緒にの方がとても安心する。(中新田中学校1年 石川陽菜さん)

★盲導犬は、人を笑顔にさせたり幸せにしたりしていて、とても印象に残りました。これからは、人が笑顔になってくれるお仕事に入りたいなと思いました。
(宮崎中学校2年 佐藤珠麗さん)

★高齢者へお弁当を届ける時、みなさん喜んでくれるのが嬉しかったです。もう1度、配食サービスをやってみたいです。
(中新田中学校1年 青砥カムラさん)

★日本には障害がある方のために、役立つ物がたくさんあると思いました。2日間の体験で、障害がある方もそうでない方のような生活ができるように、サポートするものをたくさん知ることができました。
(中新田中学校2年 佐竹七海さん)

★家の人や、足が不自由になったりしたら、私が支えてあげたいし、今日「ありがとう」と言われて嬉しかったので、「ありがとう」と言われるような仕事をしたいです。
(宮崎中学校2年 佐々木愛華さん)

★今回体験した事を忘れずに、町などで困っている高齢者の方や障害者の方がいたら、声をかけたいと思いました。
(中新田中学校2年 奥山緋里さん)

かみまちボランティアセンター通信 vol.13

加美町ボランティアセンター
電話：0229-63-2547
FAX：0229-63-2898
mail：kamisyakyo@vega.ocn.ne.jp

加美町社協ボランティアセンターでは、地域で活躍するボランティアの皆さんを応援しています。今回は、福祉まつりなど社協事業に毎年ご協力をいただいている「加美町こころの健康づくりボランティア『はあと輪・和・話』」さんより頂戴した寄稿文をご紹介します。

加美町こころの健康づくりボランティア『はあと^わ輪・^わ和・^わ話』

皆さんの「こころ」は元気ですか？きちんとケアできていますか？毎日誰かと話していますか？悩みやストレスは人生につきものです。上手に乗り越えられていますか？

こころの健康づくりボランティア「はあと輪・和・話」は、平成19年に結成しました。加美町にもストレスを抱え体調を崩したり、心の問題で悩んでいる方が沢山います。自分たちボランティアに出来ることはないか、お役に立てることはないかと模索し、地域の人たちのこころの健康づくりのために身近な相談相手になりたいと、会員みんなで考えながら活動しています。檜野章一会長のもと、現在の会員登録者数は20名です。



「はあと輪・和・話」の名前の由来ですが、「はあと」は優しい心、「輪」は車輪のまあるい輪、「和」はみんな仲良く平和の和、「話」は会話の話をイメージしてつけています。活動の主なものとして、平成23年11月から展開している傾聴サロン「**いっぶくサロン輪・和・話**」があります。現在は中新田図書館で冬場を除く毎月、小野田地区と宮崎地区では年に2回ずつ開催しています。その他に福祉まつりや検診の時などにも行っています。

コーヒーやお茶を飲みながら、一緒にいろいろなお話をすることで気持ちを楽にさせていただきたいと思い、研修を受けた会員が交替で対応しています。会員には秘密を守る義務があり、「**いっぶくサロン輪・和・話**」内での話題は外で話さないという決まり事がありますので、安心して寄ってみてください。コーヒーやお茶は無料です。

また、ストレスにさらされたりすることで、誰がかかりうる可能性がある「うつ病」予防や、しっかりと話を聴いてもらえることで元気になる心をテーマとした、オリジナルの紙芝居も会員で作成しています。ご要望があれば地域に出向いて紙芝居を行いますので、加美町役場保健福祉課もしくは各地区福祉センターにご依頼ください。





いっぷくサロン輪・和・話 今後の開催予定のお知らせ



開催日（毎月第3木曜日）	場 所	開催時間
平成28年10月 9 日(日)	小野田福祉センター （福祉まつり会場）	午前11時～午後1時
10月20日(木)	中新田図書館 和室	午後1時30分～3時
11月17日(木)	〃	〃
12月15日(木)	〃	〃
平成29年 3 月16日(木)	〃	〃

★「傾聴」って何だろう？

自分の耳と心を使って、注意深く一生懸命に相手の話を聴くことを言います。「相手が言いたいこと、伝えたいと思っていること」を、思いやりと温かい心で受け止め、相手を大切にして関心を向けて行う「特別なコミュニケーションの方法」です。相手の身になり、気持ちを理解しながら、否定したり反論したりせず^{おの}にただひたすら聴くことで、相手は自ずから解決に向かうとされています。

募金のご協力ありがとうございました！

～ 24時間テレビチャリティ募金～



8月27日(土)、イオンスーパーセンター加美店のご協力のもと、24時間テレビのチャリティ募金活動を実施しました。これは「24時間テレビ愛は地球を救う」のチャリティ委員会から、福祉車両として訪問入浴車の贈呈を受けたことがきっかけとなって始まったもので、加美町では今年で3回目の開催となりました。

当日は、今年も学生ボランティアとして、中新田高等学校の生徒さん14名にお手伝いをいただきました。高校生の元気な声に多くの皆様が足を止めてくださり、募金と共に励ましの言葉もいただきました。結果、今年の募金総額は昨年を上回る7万6,587円となりました。

皆様から頂戴した募金は、ミヤギテレビ放送を通じて、福祉支援・災害復興支援・環境保護活動に活用されます。ご協力本当にありがとうございました。



▲ボランティア活動後の1枚♪▼



▲「募金のご協力ありがとうございます！」▲

みんなで楽しく「遊び」を学ぶ♪

ミニデイサービスレクリエーション研修会

8月31日(水)、小野田福祉センターを会場に、ミニデイサービスレクリエーション研修会を開催しました。各行政区のミニデイサービスのお世話係を務めている役員さんや区長さん、民生委員さん等を中心に、57名の皆さんにご参加いただきました。

社協では、ミニデイサービスサポート事業として、レクリエーション物品の貸し出しや案内状作成などのお手伝いを行っています。また、レクリエーション等の講師として職員がミニデイにお邪魔する「介護予防シニア元気塾」も実施しています。当日は、初めに改めてこれらの事業の説明を行ったのち、参加者全員でミニデイでも実践できる体操と、貸出物品の中でも人気の高いカラオケの使い方について学びました。

その後、4つのグループに分かれ、ポケットボールやラダーゲッター、お手玉ゲームなどを体験。また、これ以外にも10種類程度のレクリエーション物品の展示も行いました。参加された皆さんは、実際に手に取ったり、職員に使い方や遊び方を尋ねたりしながら、時間いっぱいになるまで今後のミニデイでの活用や展開を考えられていました。

社協は今後も地域のミニデイを応援していきます。ミニデイサービスでお困りの際は、いつでもお気軽に各地区事務局までご相談ください。



▲「まずは大きく腕を上には伸ばしてえ〜♪」
準備運動も兼ねた体操で、緊張もほぐれます。



▲人気の貸出物品「ポケットボール」に
挑戦中！さて、気になる得点は…？



絶妙なコントロールに大歓声!!

第11回加美町老連ペタンク大会

8月26日(金)、加美町総合体育館を会場に、第11回加美町老連ペタンク大会が開催されました。当日は各地区大会を勝ち抜いた24チーム・約120名の会員が参加し、10月6日に大和町で開催される宮城県シニアスポーツ大会の代表を目指し、熱戦を繰り広げました。

地区大会を勝ち抜いた同士の大会ということで、予選リーグから非常にレベルの高い試合が続きました。今大会は特に宮崎地区のクラブの活躍が光り、準決勝、決勝と宮崎地区同士のクラブの対決となりました。その決勝戦では、通算3度目の優勝を狙う百の会を、初の決勝進出を果たした松の会が破り、念願の優勝を達成しました。

この結果により、松の会の皆さんは加美町老連代表として県大会へ出場します。大変おめでとうございます！県大会でも上位入賞目指して頑張ってください!!

大会結果

- 優勝：松の会 (宮崎)
- 準優勝：百の会 (宮崎)
- 第3位：梅の会 (宮崎)
- 永楽会 (小野田)

平成28年度福祉まつり ～えがお 心 ふれあいフェスタ～

日 時：平成28年10月9日(日)
午前10時～午後2時
場 所：小野田福祉センター

今回の福祉まつりは、ボランティア友の会や老人クラブの皆さんを中心に、ステージ発表を開催します。

また、この他にも各種模擬店や町内福祉施設の皆さんによる授産品の展示販売、もちつき体験や抽選会と、今年も楽しいイベントをたくさん用意しております。

皆様のご来場をお待ちしています!!



▲今年も楽しいイベントいっぱい! かみ～ごも来るよ!

見えない!
見えにくい!

視覚障害でお悩みの方の個別相談会 開催のお知らせ

宮城県視覚障害者福祉協会と宮城県眼科医会では、視覚障害者の方やそのご家族、関係者の皆さんがお困りのことについて、福祉・医療相談会を下記の日程で開催します。

この機会にどうぞご相談ください。

日 時：平成28年10月30日(日)、午前10時～午後3時

会 場：中新田福祉センター

実施団体：宮城県視覚障害者福祉協会、宮城県眼科医会

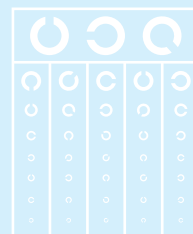
内 容：①目が見えない・見えにくい方とその家族の方の個別相談会

- ・視覚障害者の福祉に関する相談
- ・眼科医療、歩行訓練に関する相談等

②福祉機器の展示と紹介

- ・拡大読書器、白杖、音声付ノートパソコン、プレクストーク、便利グッズ等

問合せ先：宮城県視覚障害者福祉協会 (電話) 022-257-2022



赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします

赤い羽根共同募金運動につきましては、毎年多くの皆様にご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今年も10月1日より、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。皆様から頂戴した募金は、宮城県共同募金会を通じて、地域の社会福祉推進のために様々な形で役立てられます。

皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。



▲昨年の街頭募金運動より(中新田地区)

平成29年4月採用 加美町社協職員(正職員)募集のお知らせ

●初級（高等学校卒業程度）

職種（採用人数） 一般職（若干名）

職務内容 本会事務局又は事業所（介護保険事業及び障害福祉サービス事業所等）における事務・事業（身体介護、送迎等を含む）に従事

受験資格 昭和56年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法に基づく高等学校等を卒業した者（平成29年3月卒業見込みを含む）・普通自動車免許を有する者又は採用前までに取得見込みの者

試験方法 第1次試験：教養試験、一般性格診断検査

第2次試験：作文試験、面接試験

受付期間 10月3日(月)から10月31日(月)まで

1次試験 11月20日(日)（合格発表12月2日(金)予定）

2次試験 12月18日(日)予定（合格発表12月26日(月)予定）

受験手続 受験申込書は、加美町社協本部に請求。郵送で請求する場合は、封筒の表に「加美町社会福祉協議会職員採用試験受験申込書請求」と朱書きし、返信先を明記して140円切手を貼った返信用封筒（A4判が入る大きさ）を必ず同封すること。

申込・問合せ 〒981-4261 加美郡加美町字町裏320番地

加美町社会福祉協議会本部総務班（電話63-2547）まで

生活相談所開設

日常生活で心配ごと、困りごとはありませんか？お気軽にご相談ください。

★時間：午前10時～午後3時

★場所：中新田福祉センター分室2階 相談室

開設日	相談員	
10月20日	工藤わか子	早坂 彰彦
11月17日	庄司 定雄	佐藤千鶴子
12月15日	今野 攻	村山 亮子

※完全予約制です。希望される方は相談日の3日前までに電話または来所の上、お申込み下さい。

社協会費納入御礼

～ご協力ありがとうございました～

今年度も町内各世帯より、当会の福祉事業の趣旨にご賛同いただき、社協会費を納入くださいましたこと、誠にありがとうございました。また、地区推進員である行政区長の方々をはじめ、会費の受領を担当していただきました福祉活動推進員の皆様にも、心より御礼を申し上げます。

皆様から頂いた会費をもとに、今後も地域福祉のさらなる充実を図ってまいります。ご協力ありがとうございました。

温かい善意ありがとうございます

（平成28年6月13日～平成28年9月9日）

【寄付金】

★匿名 様	100,000円
★古内 哲 様（原町）	100,000円
★小笠原商事 様	10,000円
★富士美流社中 様	10,000円

【物品寄付】

- ★㈱ベガスベガス加美店 様…菓子類
- ★ゆめの会 様…バスタオル、タオルケット他
- ★匿名 様…タオル
⇒中新田デイサービスセンターへ
- ★伊藤 強志 様（菜切谷新田）…尿取りパッド他
⇒中新田デイサービスセンターへ
- ★加美商工会女性部 様…タオル、石けん他多数
- ★㈲中村印刷 様…ボックスティッシュ
- ★匿名 様…紙おむつ、尿取りパッド

【平成28年熊本地震義援金】

（平成28年6月25日～平成28年9月9日）

★加美町ボランティア友の会 （7/13会員交流会） 様	4,470円
（9/6会員研修会） 様	1,355円
★加美町宮崎ボランティア友の会 （8/1会員交流会） 様	7,360円

弁護士による法律相談日

離婚、財産相続、交通事故、刑事事件、境界、土地家屋契約、クレジット契約等の消費問題など法律上のトラブル全般についてご相談に応じます。

もちろん秘密は厳守いたします。相談料は無料です。この機会にぜひお申込みください。

・日時：平成28年12月2日(金)

午後1時から5時

・場所：加美町宮崎福祉センター

・申込：社会福祉協議会に直接お越しの上、相談シートにご記入下さい

・受付期間：平成28年10月20日(木)～11月18日(金)

※完全予約制となります。また、相談内容によっては、生活相談所や他機関等の紹介で対応することもありますので、あらかじめご了承ください。